

MI_2411

モーターシャフトガスケットの取り外しと取り付け

 iHexagon

 15分

 標準

 2026/01/12

テーマ

ここでは、モーターシャフトガスケットの取り外しと取り付けについてご説明します。

対象となる製品/アクセサリ

- iHexagon

必要な工具

- 標準

必要なコンポーネント：

取り外しと取り付けには以下のコンポーネントが必要です。

コンポーネント：	品番：
モーターシャフトガスケット D15	22.00.985P

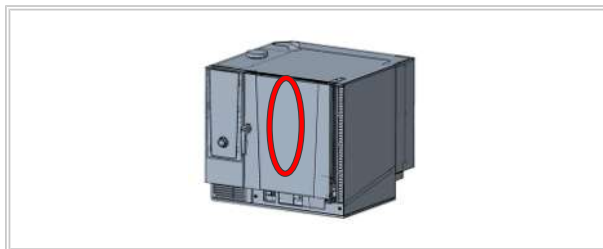
一般情報

注記

コンポーネントの取り付けをサービスレベルに記入します（タブ「コンポーネントの交換」）。これはメンテナンス履歴の一部です。

- ターゲットグループ
- 本書は、トレーニングコースおよび安全説明会に参加し、メーカーから認定を受けた訓練された技術者を対象としています。
 - 設置、点検、メンテナンス、修理作業は、訓練を受けた技術者のみが行うことができます。
 - 点検、メンテナンス、修理は、メーカーが認めた技術者のみが実施することをお勧めします。
 - お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。このユニットは、屋外で遊ぶためには使用できません。これも監督下で禁止されています。
 - このユニットは、お子様、身体的・感覚的あるいは知的な能力に制限のある方、または経験や知識が不足している方が使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、そのような人々を安全責任者が監督し、ユニットの危険性を認識させている場合はこの限りではありません。
 - 事故や物的損害のリスクを回避するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングコースや安全説明会に参加することを推奨しています。

取り付け位置



安全上の指示

⚠ 危険

電源に接続する際の高電圧

高電圧を扱う際には生命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- 意図せず再起動されないように保護してください。
- ユニットが非通電状態であることを確認してください。

⚠ ご注意

筐体の鋭利な端部

電装部で作業する際、筐体の鋭利な端部で切り傷を負うおそれがあります。

保護用手袋を用いください。

⚠ 警告

洗剤による化学熱傷の危険性

使用中、意識的および無意識的に洗剤に接触するため、化学火傷の危険があります。

- 取り付けやメンテナンスの際には、身体にフィットした保護メガネと薬剤保護用手袋を着用し、保護製品を確実に取り扱います。

注記

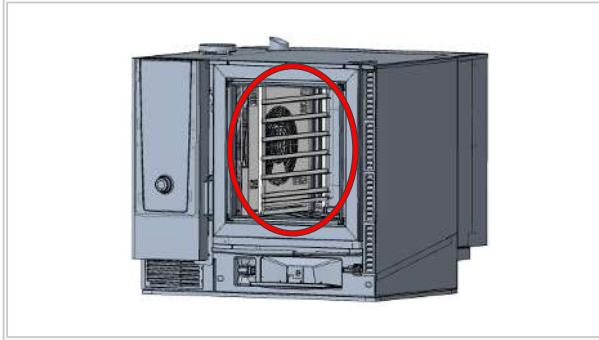
地域および国ごとの安全・試験規定を遵守してください

RATIONALのユニットに関する全ての作業には、それぞれの地域、国別の安全および試験規定が適用されます。これらの規制は地域によって異なる場合があります、国ごとに異なるため、本書では個別に記載していません。

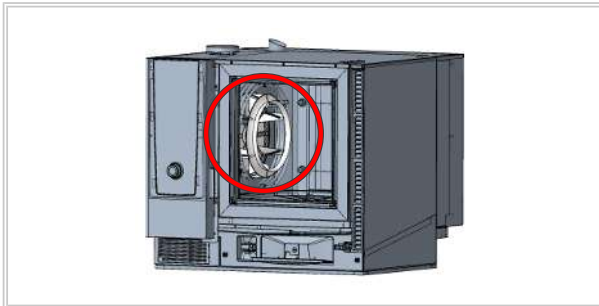
技術者は、これらの規則を遵守する責任があります。

作業手順 - モーターシャフトガスケットの取り外し

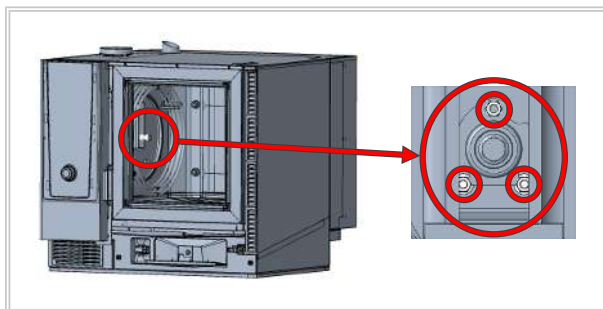
- ✓ ユニットのスイッチが切られて、非通電状態になっています。
- ✓ 左側のサイドパネルが開いています。
- 1. ユニット扉を開きます。
- 2. 庫内ラックを取り外します。
- 3. エアーバッフル板を取り外します。
iHexagonの場合、ナットを取り外す必要があります。



- 4. ファンホイールの固定ネジを緩めます。
注意！ 切り傷の危険 - ファンホイールが一緒に回転してしまわないように、外側リングにしっかりと固定します。
- 5. プラーボルトをファンホイールの中央にあるねじ山にねじ込みます。
- 6. プラーを当て、ファンホイールがシャフトから外れるまで締めます。
警告！ 聴覚保護具を使用してください。
- 7. プラー、プラーボルト、ファンホイールを取り外します。



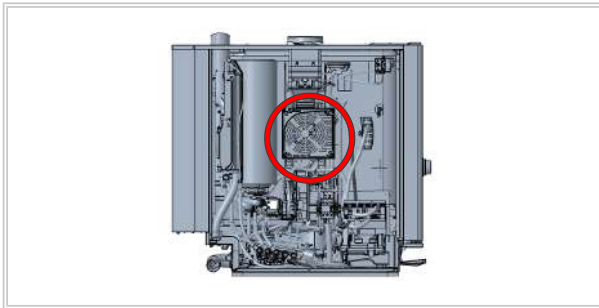
8. 3個のナットを取り外します。



9. フランジとモーターシャフトガスケットを取り外します。
注！以下の品番の取り付け補助具を用いてください。91.01.786P
>> これで取り外しの完了です。

作業手順 - モーターシャフトガスケットの取り付け

1. 取り付けは逆の順序で行います。
2. ファンホイールの固定ネジを取り付けます。
38 Nm [28.03 lbf ft] のトルクで固定ネジを締めます。
3. エアーバッフル板を取り付けます。
iHexagonの場合、ナットを取り付ける必要があります。
4. iHexagonでは、ユニットにマイクロ波漏洩がないか点検します。
警告！ユニットが通電状態で、左のサイドパネルが開いています。
5. 以下を開きます：サービスレベル -> マイクロ波 -> 漏洩試験 -> コンポーネント交換
6. 以下の位置でマイクロ波漏洩の点検を実施します。
測定値は0.4 mW/cm²以下でなければなりません。
注！マイクロ波の漏洩に関する詳細は、設置マニュアルに記載されています。



>> これで取り付けの完了です。